

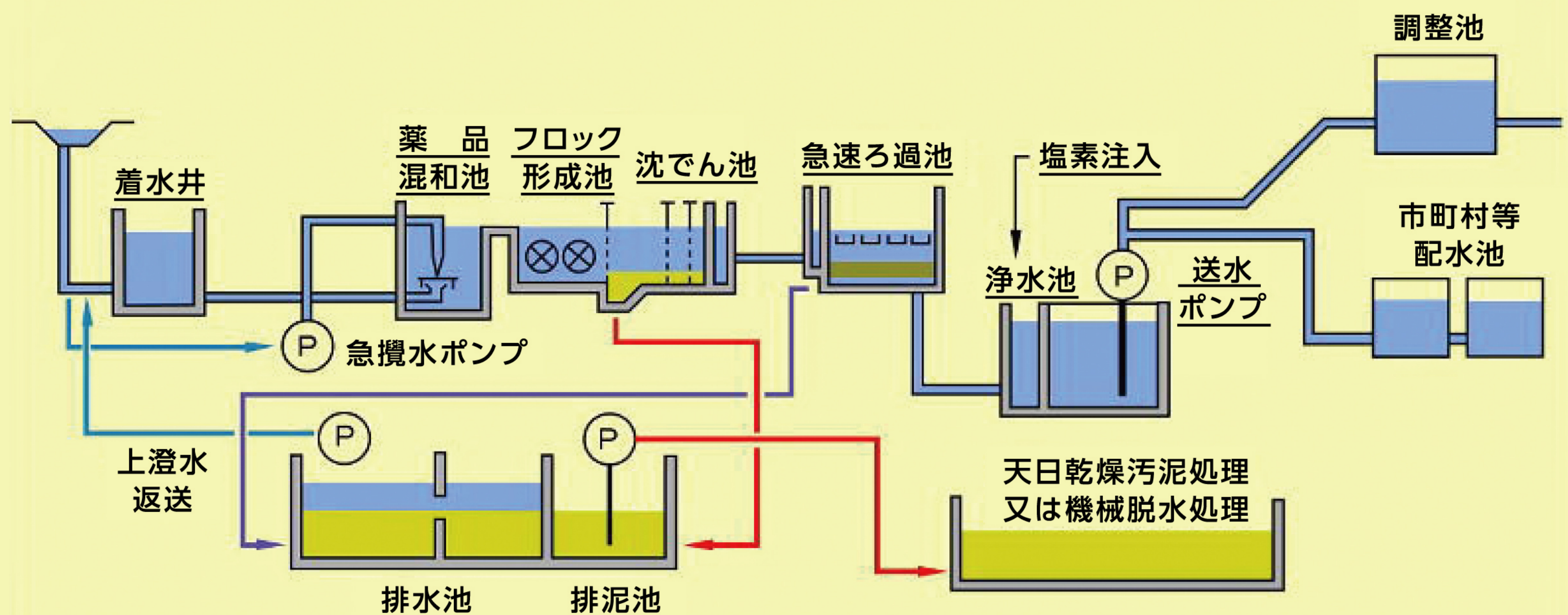
浄水処理と浄水場のしくみ

浄水処理フロー

水は、わたしたちの生活に一日たりとも欠かせない大切なものです。

県営水道の浄水場では、川などから取水した水をみなさんに安心して使っていただけるよう、きれいな水に浄水処理するため、365日24時間体制で運転しています。

浄水処理とは、川などから取水した“原水”を水質基準に適合した安全な水道水に処理することです。



着水井

川や水路などから取り入れた水が最初に到着するところです。ここに貯めた水を薬品混和池経由で沈でん池に送ります。

薬品混和池

砂や土などを沈みやすいフロック（細かい砂や土などが薬品によりくっついたかたまり）にするため、凝集剤とよばれる薬品をいれます。

フロック形成池

フロキュレーターと呼ばれる羽根車をゆっくり回転させてフロックを大きく成長させます。

沈でん池

大きくなって沈みやすくなったフロックを沈でんさせ、砂や土などのにがりを取り除きます。

急速ろ過池

沈でん池できれいになった水を砂の間を通すことにより、更にきれいに水の汚れを取り除きます。

塩素注入

ろ過池できれいになった水に消毒用の塩素を注入します。

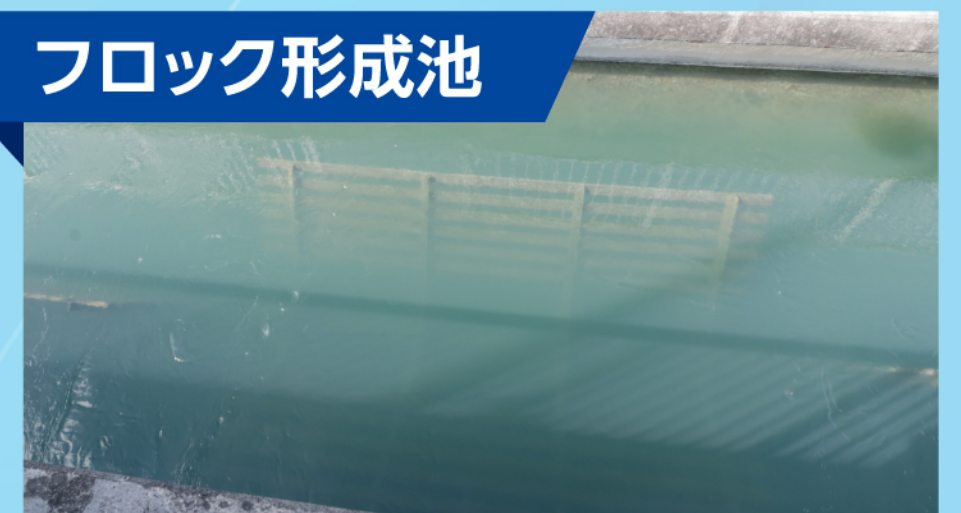
浄水池

浄水処理された水道水を一旦貯留し、送水量の変動を調整します。

着水井



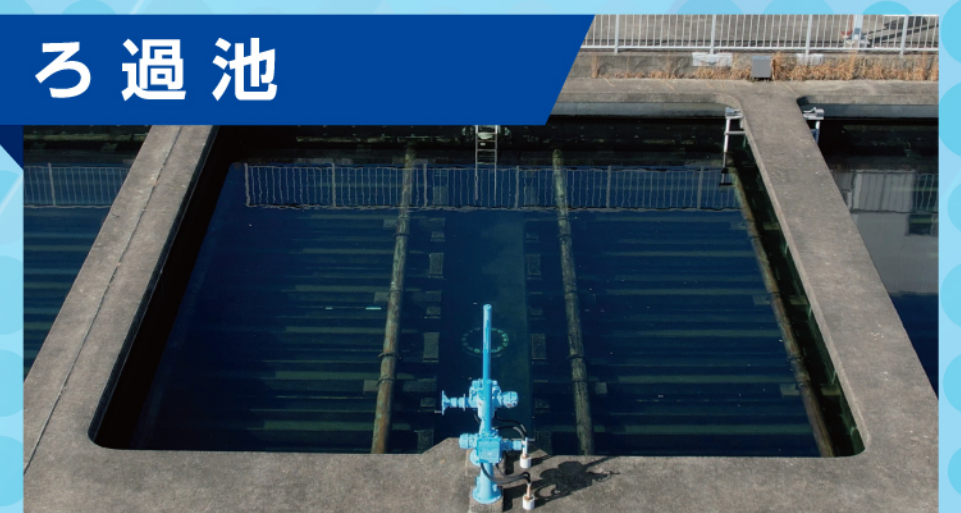
フロック形成池



沈でん池



ろ過池



◀ こちらのWebページで、
県営水道の役割や水をつくる過程などを、動画で説明しています。